

## 第 8 回 富士見市地域公共交通会議会議録

会議の名称	第 8 回富士見市地域公共交通会議		
開催日時	平成 3 0 年 3 月 2 3 日 (金)	開会	午前 1 0 時 0 0 分
		閉会	午前 1 0 時 5 0 分
開催場所	市長公室	出席者数	委員定数 2 0 名中 出席者 1 3 名
出席者	委員	大久保勇次委員、島田アサ子委員、清水実委員、山崎俊明委員、 三上秀樹委員、真家正人委員、板谷和也委員、飯塚孝廣委員、 平野由紀委員、浅井義明委員、島田臣己委員、久米原明彦委員、 細田幸雄委員 ※欠席 酒本孝委員、白砂栄子委員、照井誠委員、鶴岡洋委員、 高原昭委員、川角和嗣委員、藤倉英行委員	
	事務局	<b>【事務局職員】</b> 柴崎建設部長、落合建設副部長、近藤交通・管理課長、 森川道路・交通政策担当課長、江口交通・管理課副課長、 堺交通・管理課主任技師	
配布資料	<b>【会議資料】</b> 第 8 回富士見市地域公共交通会議 次第 第 8 回富士見市地域公共交通会議 席次表 第 8 回富士見市地域公共交通会議 出席者名簿 富士見市地域公共交通会議委員名簿 資料 1 デマンド交通実証運行結果報告書 資料 2 登録・利用状況図 資料 3 登録・利用状況図 (上位) 資料 4 移動状況図 (延べ利用件数) 資料 5 移動状況図 (実利用人数) 資料 6 富士見内のバス路線図		
公開・ 非公開	公開 (傍聴 9 名)		

## 会 議 事 項

1 開会 柴崎建設部長

2 会長あいさつ 浅井会長

3 議事

デマンド交通実証運行の結果について

会議資料により事務局から説明。

### 質疑応答

委 員：運行結果を見てみると、利用は70歳代が多く、駅や病院の利用が多いことは市としては予想していた結果なのか、予想外だった結果はあったのか伺います。

事務局：予想していた結果に近い結果となっております。

委 員：デマンド交通の補助金額は想定内なのか。

事務局：予算計上が1,417万5千円としておりましたので、その範囲内ということで、当初の想定内の結果と考えております。

委 員：行先は駅が多いようですが、既存バス路線への影響についてはどのように分析されていますか。

事務局：詳細な分析には至っておりませんので、影響があったかどうか、明確な回答はできませんが、デマンド交通の運行開始の8月から12月分の市内循環バスの利用状況を見てみますと、若干減っている状況です。減少した原因がデマンド交通による影響なのかまではわかっておりません。

委 員：東武バスの既存の路線で言いますと、志木駅から下南畑、ららぽーと富士見を経由してふじみ野駅まで行く路線は、今年と昨年、一昨年を比較すると、8月以降若干減っている状況です。天候等により増加している月もありますが、デマンド交通による既存バス路線への影響はあると捉えております。

委 員：登録者が多い地域は、当然、利用者数も多くなっている。しかし、市境の地域において、具体的に地域をあげると、榎町地域は柳瀬川駅の商業施設などを利用している。市境の地域には、そのような状況がたくさんあるので、そういう地域にも目を向けて欲しい。

委員：登録者数や利用件数だけでなく、人口に対しての割合等も分析していけば良いと思います。

副会長：利用件数等のランキング付けをすると、人口が多いところが有利になるのは当たり前で、人口が少ない地域は、事業の経費削減となった場合、利用が少ないから運行地域から除外する傾向にあり、それを防ぐために、割合で表現をすれば、その地域の方がどのくらい利用しているのかが分かるので、違う見方ができるため、割合の指標も大事だと思います。そうすると、上南畑や下南畑地域の登録割合は悪くないと思います。

資料3において、私の感覚ですが、表示されているデマンド交通の利用が多い地域は既存のバス路線が少ない地域であると感じます。

特に東武東上線西側地域において、駅に近い地域の方は、自力で駅まで移動ができるが、少し離れた地域では、バス路線もありませんし、以前から困っていた方が多かったのかもしれませんが、そういう方が、デマンド交通に敏感に反応され、利用されたのだと思います。

また、この地域には、デマンド交通以外の交通手段が必要かもしれないと読みとれると思います。このことは、みずほ台駅の東側にも言えることで、先ほどもお話があったように、柳瀬川駅に近いと利用したくても出来なかった方がいらっしゃるだろうと思いますが、そのことを差し引いても、これだけの登録・利用があったことをみるとニーズに対して、交通ネットワークの整備が不十分であると数字だけを見ると読みとれると思います。一方で、市内にはバス停留所が密にあって、かつ、利用も多いのは、ニーズをうまく組むことができていると思います。ただ、デマンド交通が路線バスに影響があると好ましくありません。バスを利用できる方は、バスを利用していただきたいと思います。バスで移動できる方々の移動ではなく、今まで別の交通手段を利用して苦労していた方がデマンド交通を利用して、便利になったということであれば、市としても、とても良い結果だと思います。このあたりについて、どういう状況で利用されているのか、現在行っているアンケートをしっかりと集計していただき、次回若しくは次々回の会議で報告していただき、その報告をもって、今後の公共交通について検討していくと思います。

あと、登録をされない方が多いのは、デマンド交通がなくても問題ない方がたくさんおり、富士見市として、交通に困っていない方がたくさんいると捉えていただくと良いと思います。登録をしたけど、利用がなかった理由は、2つ考えられ、1つは、利用する機会がなかったこと、この理由は特に問題がなく、もう1つの理由は、利用したかったが、何か問題があって利用ができなかったことが考えられます。

これは、利用の状況によって評価が変わってくると思います。今回の結

果とアンケートを併せると、この先の富士見市の交通ネットワークを考える材料になると思います。

全体としては、すごく良く利用していただいていると思います。これは、市のほうで、しっかり周知していただいたことと利用しやすいやり方を勉強していただいた結果だと思っています。

これだけ利用があれば、少し改善して本格運行しても良いと思いますが、それは今後議論していくことと思います。

やはりヘビーユーザーがいるということで、100回以上の利用は少し多いと感じます。あまり、特定少数のためにたくさんの経費を使用することは好ましくないとの考えから、利用回数に制限を設けても良いのではと思います。

一方で、本当にデマンド交通の利用回数が多い方が今まで困っておられて、デマンド交通を大変活用されており、需要もあり、回数制限は困ると思います。その方々への取り組みは、今回の交通ネットワークとは違う枠組みで議論するべきと考えます。

#### 4 その他

事務局：平成30年度は3回の地域公共交通会議を予定しております。次回は、5月末頃の開催を予定しており、今回いただいた意見を基に分析、アンケートの結果報告をしたいと考えております。また、平成30年の秋ごろまでに公共交通政策の方向性を出したいと考えております。

デマンド交通利用登録者アンケートの返信数の報告ですが、デマンド交通を利用した方1,500名、利用しなかった方1,500名の合計3,000名にアンケートを発送し、平成30年3月22日現在、1,900通を超える返信がある状況です。

#### 5 閉会 柴崎建設部長